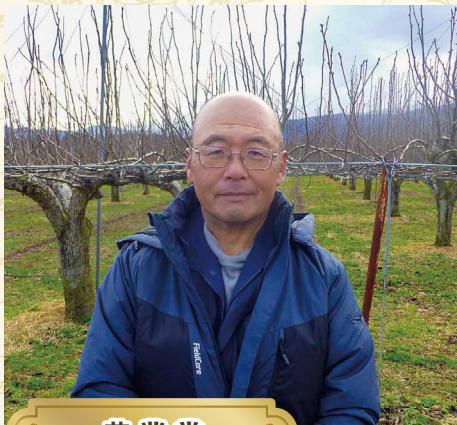


福島市 農政だより

編集・発行
福島市五老内町3番1号
福島市農政部農業企画課
発行責任者
農政部長 板垣 真也

令和7年度 福島市農業賞受賞者が決定

令和7年度の福島市農業賞には、農業賞に1名、農業奨励賞に1名、1団体の受賞が決まりました。



農業賞



加藤 義隆 様 (松川町金沢)

梅津 信一 様 (町庭坂)

ナシの安定生産・長期販売

「あきづき」「南水」「王秋」などの新たな品種を積極的に導入し、品種構成を見直し、さらに晩生の「秋峰」を先駆けて導入するなど、生産の安定化、長期販売に取り組んでいる。また、就農当初から地元農業後継者会に所属。平成5年以降、福島市農業後継者連絡協議会会長など多方面に於いて要職に就き、本市の果樹農業振興と後継者育成に尽力し、地域農業の振興に大いに貢献している。

農業奨励賞
(地域活性部門)ふくしま未来農業協同組合
女性部岡山支部 様 (岡山)

新規就農者支援に尽力

平成17年に親元就農。令和元年に経営継承し、同年にはJGAP（団体認証）を取得。

さらに、令和3年より県の研修先認定機関として、研修生を受け入れている。研修期間が終了し、フレッシュ農家として送り出した後も、彼らが無収入となる間、自身が経営する直売所でアルバイトとして彼らを雇用するなど、フレッシュ農家への支援を惜しまない。

地産地消活動に取り組む

東部地区は野菜の生産が盛んであるため、野菜づくり講習会、味噌作り教室等のグループで活動。

これらのグループ活動を通して、学びの場づくりを展開し、SDGsの実践と、安心・安全な食の学習に取り組む。

また、地域住民を対象とした料理教室や学校の食育授業へも講師として赴き、食と農業への理解醸成、伝統料理の継承、食と農業の応援団づくりにも貢献している。

1月、2月は農業者年金加入推進強化月間 「農業者年金」加入で安心、豊かな老後を！

ポイント1 農業者なら誰でも入れる「終身年金」

- 加入資格は3つだけ
 - ①年間60日以上農業に従事
 - ②国民年金第1号被保険者（国民年金保険料納付免除者を除く）
 - ③65歳未満（60歳以上は国民年金の任意加入被保険者）
- 保険料の設定は自由（月々2万円～6万7千円）、加入・脱退も自由
- 「終身」で受給でき、80歳前に死亡した場合は死亡一時金も

ポイント2 保険料の国庫補助

（認定農業者で青色申告者等の要件を満たす方）

ポイント3 税制面で大きな優遇措置

- 保険料は全額社会保険料控除
- 運用益が非課税
- 年金として受け取る際も控除の対象



▲詳しくはこちら

〈問い合わせ〉農業委員会事務局 庶務係 電話(525)3779

農業施設改修等の補助金を交付します

申請期限まで
残りわずか！

(1) 対象者

土地改良区、水利組合、または営農者3戸以上

(2) 対象事業

- ①農業施設改修（水路、水門、ため池、U字溝等）
- ②浚渫（水路、水門、沢、水路橋、ため池等）
- ③農業施設改修に必要な測量・調査等
- ④農業施設の漏水調査・耐震調査・点検等

(3) 事業費と補助率

事業費は最大200万円、補助金額はその1/3
(上限66.6万円)で、2/3は自己負担です。

(4) 申請期間

令和8年1月30日（工期 令和8年2月27日まで）

修繕前



修繕後



詳しくはこちら▼



〈問い合わせ〉

農林整備課 管理係

電話(525)3728

補助上限300万円！

～令和8年度農林業振興基金事業補助金の要望調査を実施します～

人手不足、高齢化、獣害対策など地域が抱える課題を本補助金を活用して解決しませんか？

- (1) 対象費用 地域の課題を解決するために必要な取り組みに係る費用
- (2) 対象者 ①3戸以上で組織する農業者団体
②3戸以上の農家から利用権設定、
又は農作業の委託を受けて利用集積を行う法人
- (3) 補助率等 費用の1/2以内（上限300万円）
- (4) 調査期間 2月13日（金）まで

※必要書類の提出により申請・採択がなされるものではありません
のでご注意ください。

〈問い合わせ〉 農業企画課 農政企画係 電話(525)3726

電動作業台を導入して
高齢者や女性も作業ができるようになった！



スピードスプレイヤーを
導入して作業効率があがり
耕作放棄地解消に繋がった！



盗難被害を防ぐため
防犯カメラやフェンスを
設置した！



▲詳しくはこちら

令和7年産米のモニタリング (抽出)検査の結果について

県が福島市を対象に実施した
令和7年産米のモニタリングの
検査結果は、測定下限値(10
ベクレル/kg)未満でした。



出荷等の自粛にご協力いただきました生産
者の皆さまにお礼申しあげます。

なお、福島の米の安全・安心の確保のため、
出荷の際は、米袋の中に異物（土やほこり）
が混入しないようご注意ください。

●検査方法

市内1点の玄米を採取



●検査結果公表日

(出荷等自粛解除日)

令和7年9月3日

▲詳しくはこちら

〈問い合わせ〉

農業振興課 生産振興係 電話(525)7720

令和8年産稲の放射性セシウム吸収抑制対策

水稻の作付に際し、放射性物質の吸収抑制対策のため、土壤中の交換性カリ含量に応じた適切な対応が必要です。

【基本対策】

稻わらのすき込みや堆肥の投入による土づくりを基本に、土壤分析を行い、吸収抑制効果の高い塩化カリの施用により、土壤中の交換性カリ含量の目標値(25mg/乾土100g以上)を確保できるようにした上で、慣行の基肥(窒素・リン酸・カリ)を施用しましょう。

【震災後初めて水稻を作付される方】

令和8年に「震災後一度も作付されていないほ場」に作付予定の方は、期日までに問い合わせ先へご連絡ください。

カリ質肥料の散布実績がないなどの要件を満たす場合に限り、カリ質肥料を配布します。

令和8年2月20日（金）まで 福島市農業振興課へ

※数年間作付していない水田で作付を再開する方は、県北農林事務所へご相談ください。

〈問い合わせ〉 農業振興課 生産振興係 電話(525)7720
福島県県北農林事務所 電話(521)2608

炭化器を使用する際は火災等にご注意ください！

炭化器を活用して炭づくりをする際は、周辺の生活環境に十分に配慮し、製造メーカーの取扱説明書に従って使用してください。

【注意点】

- 強風時及び乾燥時は、炎が燃え広がり延焼に繋がる恐れがあるためお控えください。
- 事前に消防署へ「火災とまぎらわしい煙または火煙を発するおそれのある行為の届出書」を提出してください。
- 生成した炭については、譲渡及び販売等は行わず、株本散布するなど自家消費としてご活用ください。



詳しくはこちら▶



〈問い合わせ〉 農業振興課 生産振興係 電話(525)7720

市内農家さんのもとで、農林水産省若手職員2名が研修に励みました！

農林水産行政担当者としての資質向上を図ることを目的とした、農林水産省独自の「農村研修」が行われ、本市では2名の若手職員が研修されました。



農林水産省 デジタル戦略グループ
田川 真美 様

農林水産省の田川と申します。研修として、大友農園で約1か月間お米の収穫を手伝わせていただきました。大友農園様では、コンバインで稲刈りを行ったあと、残った稲を一株ずつ丁寧に刈り取っている姿が印象的で、お米一粒まで大切にする農家さんの気持ちを間近で感じることができました。

また業務の観点からは、近隣の稲刈りも受託することで、耕作放棄地の拡大も防ぎ、地域の農業を支える光景が印象深く、農林水産省の職員として、農家さんあっての食料生産であることを忘れず、現場に寄り添う政策を目指したいと思いました。

最後に、受け入れていただいた大友農園の皆様、調整等いただいた福島市役所の皆様、本当にありがとうございました。

火入れをする際は事前に許可申請が必要です

「火入れ」とは、

市内の森林または森林の周囲1キロメートルの範囲内にある原野、田畠、荒廃地その他の土地で、その土地にある立竹木、雑草、堆積物等を面的に焼却する行為のことをいいます。

1 許可申請の方法

「火入れ許可申請書」に必要事項を記入のうえ、農林整備課へご提出ください。

申請書は農林整備課で配布しています。市ホームページからもダウンロードできます。

2 その他

「福島市火入れに関する条例」の改正により「林野火災注意報」発令中の火入れが禁止されました。

詳しくはこちら▶



〈問い合わせ〉 農林整備課 林務係 電話(525)3729

研修生の受け入れにご協力いただきました、
大友農園様、株フルーツのいとう園様、誠にありがとうございました。

〈問い合わせ〉 農業企画課 農政企画係 電話(525)3726



こんにちは、福島大学食農学類です
第19回『生態系の物質循環から農林水産業の基盤環境を考える』

福島大学公式マスコット
キャラクター めばえちゃん



▲磐梯山と猪苗代湖。
猪苗代湖が近年急激に中性化した原因と湖沼生態系への影響を調査しています。

食農学類生産環境学コースの福島慶太郎です。2022年4月着任から早4年が経ちます。専門は生態系生物学。私たちの身の回りには多様な生物が存在し、その一部を農林水産資源として利用しています。生物は単独で生存しているわけではなく、生物間、また生物-非生物間が相互作用しあって生態系（エコシステム）を構成しています。私の研究室では、森林・農地・河川・湖沼・沿岸の生態系やそれらの連環を対象に、炭素・窒素などの物質動態や水質をモニタリングして農林水産業の基盤環境を評価し、持続可能な生態系の管理办法を考究しています。福島県内には活火山が分布し、複雑な地形に成立する多様な植生や、強酸性河川の合流など特殊な環境が存在します。現在、荒川や猪苗代湖、尾瀬、只見などを調査フィールドにして、独特な環境が形成する生態系の特殊性や、忍び寄るシカ食害、森林伐採、気候変動に対する生態系の応答を評価しています。現場データをもとに、生態系の一員である皆さんと農林水産業の未来について語り合えればと思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。



福島慶太郎 淄教授



LINEで、補助事業の
情報をいち早くキャッチ！

福島市公式LINE
では補助事業や農業
災害情報等、営農に
役立つ情報を配信し
ています。

▼登録はこちら▼





今号の 農政だよりは いかがでしたか？



 より効果的に情報を
お届けできるよう、
皆さまの声をお聞か
せください。

▲こちらよりご協力をお願ひいたします
令和8年3月1日(日)まで

◎ 瞄入空口

購入をご希望の場合は事前連絡をお願いします。

△販売単価：サイン

1kg箱100本 (内寸) 250×175×110mm (外寸) 253×177×113mm

Digitized by srujanika@gmail.com

2kg箱120円 (内寸) 310×240×110mm (外寸) 314×253×120mm

購入窗口

購入者様の場合は支払締約を願います。

購入をこ希望の場

林氏云杜工
TEI (593)

桂 (333) 0500 桂林市庄到了柳州市 (333) 0500

販売単価・購入窓口はR8

問い合わせください。

〈問い合わせ〉 農業振興課 販売促進係 電話(529)7663

〈問い合わせ〉 農業振興課 販売促進係 電話(529)7663

～公設地方卸売市場からのお知らせ～

出荷者の皆さんへ

福島市公設地方卸売市場の1月から4月までの休場日は次のとおりです。日曜日は3部とも休場日ですので、ご注意ください。

〈問い合わせ〉 市場管理課 電話(553)1213

部類	休場日
青果部	毎週水曜日、1月12日(月)、2月23日(月)、3月20日(金)
水産物部	毎週水曜日、1月12日(月)、2月23日(月)、3月20日(金)
花き部	毎週木曜日、1月10日(土)、1月24日(土)、2月7日(土)、2月14日(土)、4月4日(土)